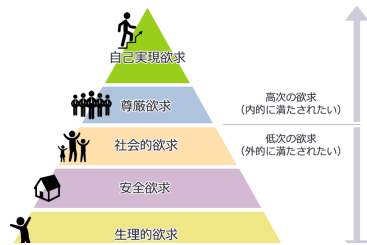


支援プログラム 2025/2/1 児童発達支援

法人（事業所）理念	療育を文化にし、地域と共生する事業所、そしてインクルーシブな学校を創る	方針	そのまま育てを大事にし、自分も他者も受け入れる
送迎の有無	有	時間	8：30 - 17：30

支援方針
 発達支援を必要とするお子さんがご家族と共に安心して豊かな地域生活が送れるように支援します



健康
① 健康・生活
健康状態を把握する、生活リズムを整える 基本的な生活スキルの獲得に向けて身支度や物の管理ができるように 子ども一人ひとりに合わせて生活環境を整える

移行支援：切れ目のない支援を継続出来るよう、移行先に支援経過等を共有する。
 地域支援・連携：保育所等訪問支援等を利用し、本人の課題等を共有する。
 意思決定支援：利用者の意思を尊重し、本人が分かるよう、説明する。
 職員の質向上：定期的に研修を実施し、技術の向上を図る
 その他：保護者会やキャンプ等の行事を行う

機能		活動		参加	
②運動・感覚機能	③認知機能	④言語機能	③行動	④コミュニケーション	⑤人間関係・社会性
様々な遊びや活動を提供し、身体や手先の使い方を本人が習得できるように支援する 口の中の運動感覚に対して助言 個人個人の運動機能や感覚に合わせて課題を設定する 力加減や疲れなどの調整を促す	個人に合わせた課題を設定し、言語機能の向上を促す 情報処理の優位性に合わせた課題設定	自分の得意なことや苦手なことを知り、自己理解を促す 感情コントロールの方法を一緒に考える 場面によって行動等が変化するか確認する	自分の思いや要求の相手への伝え方など、場面や相手の状況に応じた適切なやりとりを促す	役割やルールなどに応じてお友だちとの協同・集団遊びへの取り組みややりとりを通して、適切な人間関係の形成を促す 自分の感情や気持ちなどに関心を持ち、情緒の安定を図る	

個人因子	環境因子
自己理解、対話や外存化することで深め、強みを探す レジリエンス：自己認識・自制心・精神的敏速性・楽観性・自己効力感・つながり	家族：NVC などを取り入れ、子どもの障害受容を促進する 家族の負担感を確認する 学校：訪問し、先生とのパイプ役になり、親の不安を軽減していく